

播陽証券 ＝注目・外株銘柄＝ (2026年8月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

P1【宇宙・AI】スペースX(SPCX)

P2【半導体】セレブラス・システムズ(CBRIS)

P3【ネットワーク機器】シスコシステムズ(CSCO)

<継続>

P4【マグニフィセント7】アップル(AAPL)

P5【マグニフィセント7】エヌビディア(NVDA)

P6【マグニフィセント7】アルファベット(GOOG)

P7【マグニフィセント7】マイクロソフト(MSFT)

P8【マグニフィセント7】アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P9【マグニフィセント7】メタ・プラットフォームズ(META)

P10【マグニフィセント7】テスラ(TSLA)

P11【投資銀行】ゴールドマン・サックス(GS)

P12【電力設備】GEベルノバ(GEV)

P13【半導体】マイクロン・テクノロジー(MU)

P14【半導体】アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)

P15【半導体】マーベル・テクノロジー(MRVL)

P16【半導体製造装置】ASMLホールディングADR(ASML)

P17【半導体製造装置】アプライド・マテリアルズ(AMAT)

P18【通信機器】コーニング(GLW)

P19【データ解析】パランティア・テクノロジーズ(PLTR)

P20【セキュリティ】データドッグ(DDOG)

(株価データ、株価指標は現地2026年7月30日現在)

<新規>

6月に上場したE.マスク氏設立の宇宙開発・AIインフラ企業

「巨大チップ」技術でAIインフラ構築を狙う新興企業

ソフトウェア・セキュリティを強化するネットワーク機器世界大手

<継続>

デジタルIT機器の設計・販売大手

AI計算のGPUでトップに君臨する半導体開発企業

インターネット検索世界最大手

ソフトウェア世界最大手

インターネット小売世界最大手

SNS運営世界最大手

米電気自動車(EV)大手

大きく変容する資本市場のプロデューサー

電力設備の世界最大手

米国を代表するDRAM・NANDメモリ大手

CPUからFPGA・GPUまで多品種を揃える半導体メーカー

M&Aで光通信部品も強化したASIC大手

先端半導体製造の要、EUV露光装置をで唯一製造

エッチングや成膜装置に強く、幅広い工程に関与する大手

特殊ガラス製品メーカー、光ファイバー製造米国最大手

防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供

AI監視で成長するクラウド型可観測ツールの世界最大手

ロケット輸送から次世代AIまで一手に担う、圧倒的スケールの垂直統合企業

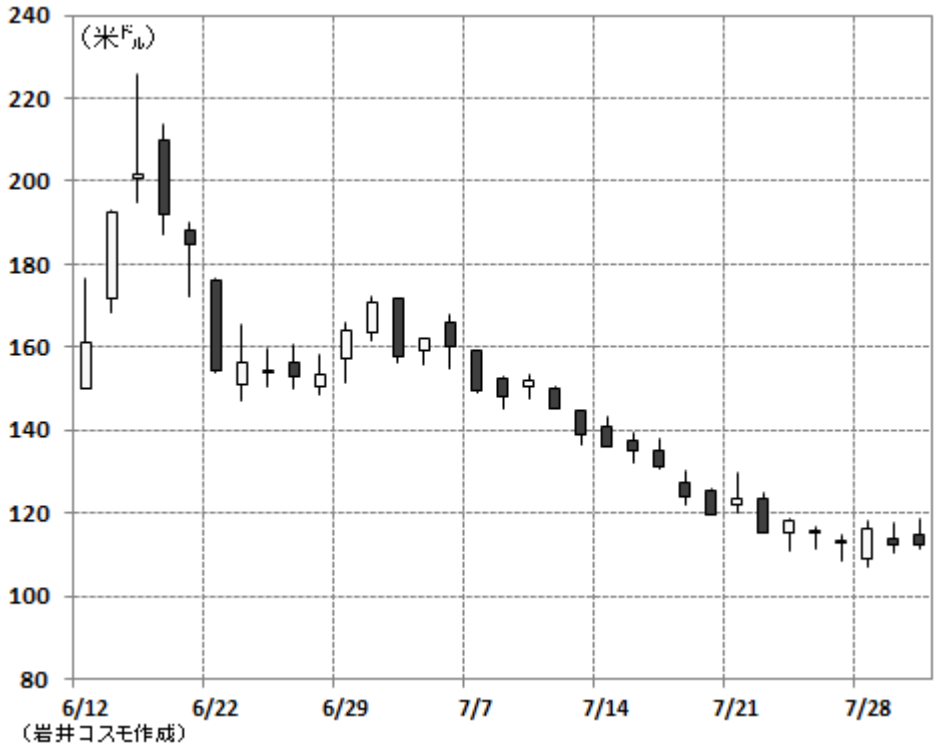
会 社 概 要

2002年にイーロン・マスク氏が設立した宇宙開発・AIインフラ企業。26年6月にナスダック市場に上場(IPO価格:135ドル)、史上最大の857億ドルを調達。従来のロケット開発や衛星通信「スターリンク」に加え、近年はAI分野を急拡大。xAIの統合やAIコーディング企業「カーソル」の600億ドルでの買収を通じ、「宇宙×AI」の垂直統合プラットフォームを構築。次世代AIモデル「グロック 4.5」を展開し、エンタープライズAI市場で主導権を握る。

注 目 ポ イ ン ト

□**宇宙事業に加えAIインフラ企業を強化**：近年は宇宙輸送企業から巨額の継続収入を生むAIインフラ企業への転換が鮮明でアンソロピックと総額約450億ドル、グーグルと約300億ドルのクラウドサービス契約を締結。マスクCEOは2030年までに年間売上高1兆ドルという強気目標を掲げる他、テスラとの将来的な経営統合の可能性も指摘されている。

□**壮大なフロンティア企業**：同社は軌道上(宇宙)のデータセンター構築を計画、この構想の鍵を握る新型巨大ロケット「スターシップ」も、試験飛行で得たデータを基に猛スピードで改良を重ねている。巨額投資による一時的な負担や開発の波はあるものの、これらが結実すれば他社を圧倒する収益力と優位性を確立する期待が大きい。



株 価 チ ャ ー ト (上場来・日足)

株価データ	
株 価(米ドル)	112.2 (07/30)
52週高値(日付)	225.62 (26/06/16)
52週安値(日付)	107.01 (26/07/28)
時 価 総 額	1兆4,765億 ^{ドル} 235兆5400億円
株価変化率(%)	— (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	— (倍)
PBR	— (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	14,015	35	466	黒転	791	黒転	0.00	0.00
2025/12	18,674	33	-2,589	赤転	-4,937	赤転	-1.69	0.00
四半期業績								
2025/Q1	4,067	—	27	—	-528	—	-0.18	0.00
2026/Q1	4,694	15	-1,943	赤転	-4,276	赤継	-1.27	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

超高速処理が可能な「超巨大AIチップ」を武器にAI推論計算で飛躍する新興企業

会 社 概 要

2016年設立。切断前のウェハ-1枚をそのまま使った超巨大AI半導体「ウェハスケール エンジン」を手掛け、低遅延・超高速処理を強みにAI推論インフラ・データセンター(DC)を提供する米IT企業。26年5月にナスダック市場に上場(IPO価格:185ドル)、約55.5億ドルを調達。オープンAIやAWSに加え、7月にはAMDやクラウドストライク等との提携を発表。エスビディア陣営に対抗する主要プレイヤーとして存在感を高めている。

注 目 ポ イ ン ト

□「推論」需要捉え大手と連携：AI市場の主軸が「学習」から「推論」へ移行する中、AI推論計算の超高速処理の強みを持つ。大型受注ではオープンAIとの200億ドル超の契約を締結。事業拡大ではAMDとの協業や欧州でのDC拡大を進める。また受託製造のフレックスと連携し、自社製サーバの生産能力を当初比7倍に拡大する計画。

□需要急増を確認：1-3月期売上高は前年同期比94%増の1.93億ドルと急拡大。DC容量不足に伴う一時的な借り受け費用等で4-6月期の粗利益率見通しは36～38%に低下するものの、旺盛な需要を確認した。UAE顧客の売上依存の脱却も進み、計算資源の供給能力が高まれば、AI推論市場での優位性を確立する期待が高い。



株 価 チ ャ ー ト (上場来・日足)

株価データ	
株 価(米ドル)	203.07 (07/30)
52週高値(日付)	385 (26/05/14)
52週安値(日付)	160.99 (26/06/26)
時 価 総 額	453億ドル 7兆2,194億円
株価変化率(%)	— (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	27.6 (倍)
株価売上高比率	13.6 (倍)
PBR	— (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^千 円)	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^千 円)	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^千 円)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	290	—	-101	—	-485	—	-9.90	0.00
2025/12	510	76	-146	赤継	88	黒転	1.38	0.00
四半期業績								
2025/Q1	100	—	-28	—	-24	—	-0.69	0.00
2026/Q1	193	94	-15	赤継	-14	赤継	-0.22	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

ハイパースケーラー受注急増とセキュリティ強化で迎える第2の黄金期

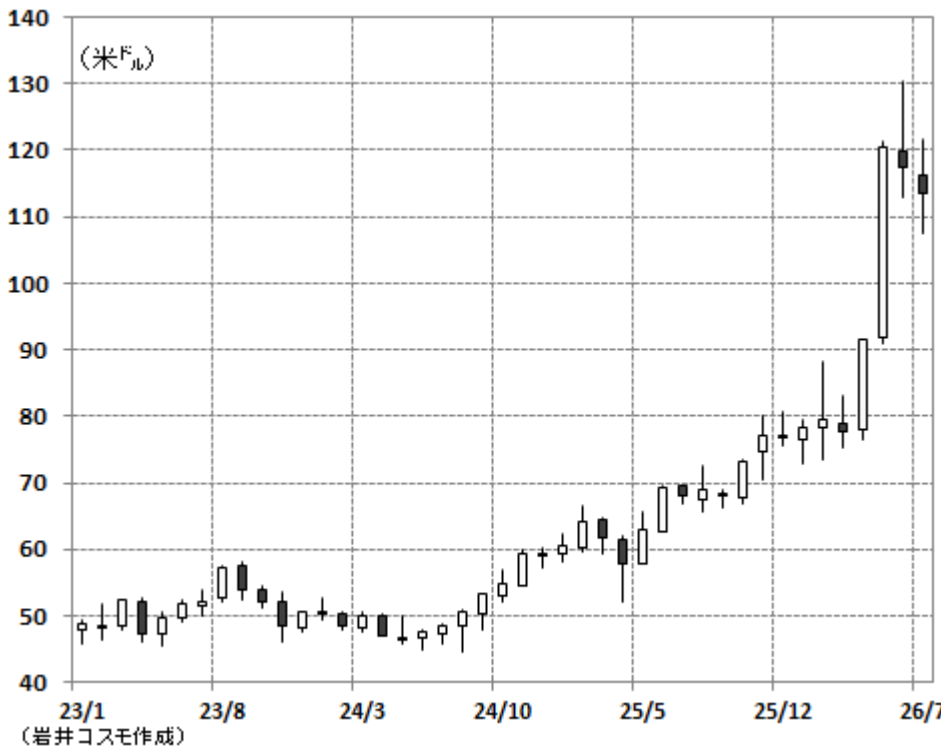
会 社 概 要

1984年創立。ルーターやスイッチなどネットワーク機器で高いシェアを誇る世界的通信機器大手。光通信部品のアカシア(21年)やデータ分析のスプラunk(24年)の買収を通じ、光通信/セキュリティ/ソフトウェア領域を大幅強化。従来のハード売り切り型から、継続課金(サブスクリプション)型へ事業モデルの転換を進め、現在は総売上上の約半数をサブスクが占める。株主還元にも手厚い、NYダウ工業株平均構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□ **AIインフラ受注を大規模受注**：クラウド大手(ハイパースケーラー)からのAI向けネットワークインフラ需要が急増。前回決算で独自開発の半導体「シリコンワン」や超高速光通信部品が牽引し、2026年度のAIインフラ受注目標を従来の50億ドルから90億ドルへ大幅に上方修正、サプライズ要因となった。機器の基本ソフトをオープンソース仕様に適合させ、旺盛なAI投資の恩恵をダイレクトに享受している。

□ **セキュリティ分野で存在感**：買収したスプラunkの技術を統合し、通信網とログ分析を掛け合わせた次世代サイバー防衛を推進。26年2-4月期の年換算経常収益(ARR)は312億ドルに達し、強固な収益基盤を確立。AIとデータ主導のプラットフォームとして再評価の機運が高まる。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	113.56 (07/30)
52週高値(日付)	130.36 (26/06/04)
52週安値(日付)	65.75 (25/08/18)
時 価 総 額	4,476億ドル 71兆4,039億円
株価変化率(%)	45.0 (過去6ヶ月間) 66.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	37.3 (倍)
株価売上高比率	7.4 (倍)
PBR	9.2 (倍)
税前提当利回り(%)	1.48 (直近年率)
配当成長率(%)	2.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	25.8 (%)
株式ベータ	0.97 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/07	53,803	-6	12,181	-19	10,320	-18	2.54	1.58
2025/07	56,654	5	11,760	-3	10,180	-1	2.55	1.62
四半期業績								
2025/Q3	14,149	—	3,202	—	2,491	—	0.62	0.41
2026/Q3	15,841	12	3,960	24	3,373	35	0.85	0.42

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

時価総額首位に返り咲いた、スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

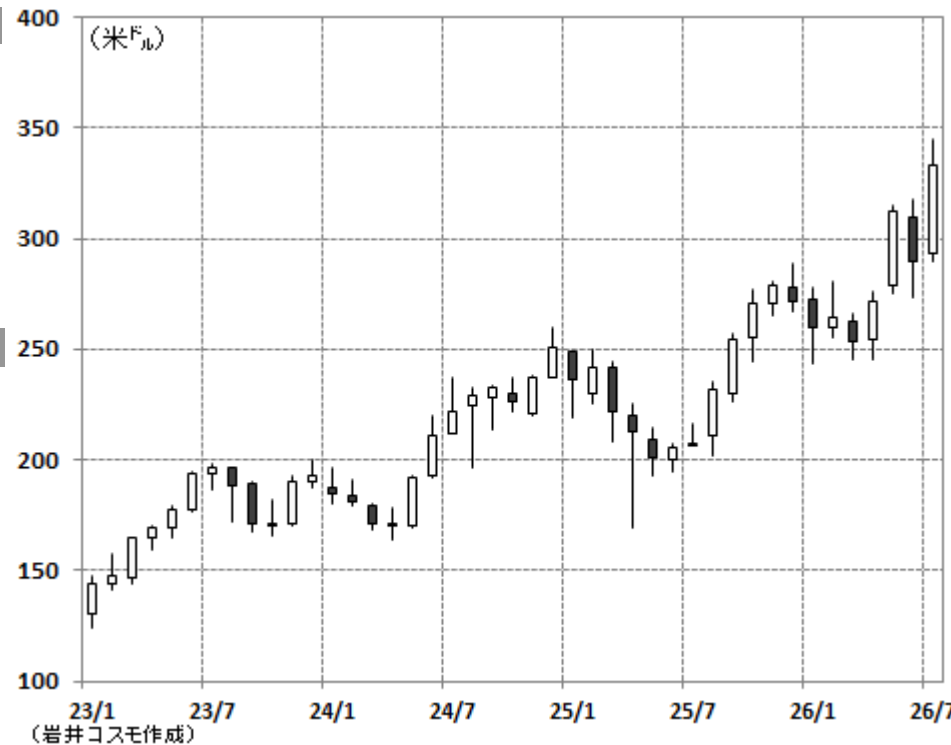
会 社 概 要

スマホ「iPhone」やタブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は長らくクックCEO体制が牽引したが、26年9月にハド部門統括のジョン・ターナス氏が新CEOに就任する。ブランド力を強みに独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。NYダウ工業株平均銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**iPhone好調も、供給制約が重し**：4-6月期売上高は前年同期比16%増の1094億ドル、1株利益は同29%増の2.02ドルと予想を上回り、第3四半期としては過去最高を更新。「iPhone17」需要が牽引し同部門売上は22%増の543億ドル。一方、中国売上やサービス事業が予想未達となり、先端半導体等の供給制約により7-9月期売上高見通し(9-11%増)は市場予想を若干下回った。

□**新リース制度導入**：6月に部材高騰によるPC「マック」等の異例の一斉値上げを発表。7月には月々の支払額を抑える新リース制度「アップル・アップグレード」を発表。9月就任のターナス次期CEOの新体制下で、値上げの影響を抑えつつ成長軌道を維持できるか注目される。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	333.43 (07/30)	実績PER	38.2 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
52週高値 (日付)	344.555 (26/07/29)	株価売上高比率	10.5 (倍)	2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
52週安値 (日付)	201.51 (25/08/01)	PBR	45.9 (倍)	2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02
時 価 総 額	4兆8,972億 ^{ドル} 781兆2511億円	税前提当利回り(%)	0.32 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)	2025/Q3	94,036	—	28,202	—	23,434	—	1.57	0.26
株価変化率(%)	28.5 (過去6ヶ月間) 59.5 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	141.5 (%)	2026/Q3	109,417	16	35,695	27	29,789	27	2.02	0.27
		株式ベータ	1.05 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握

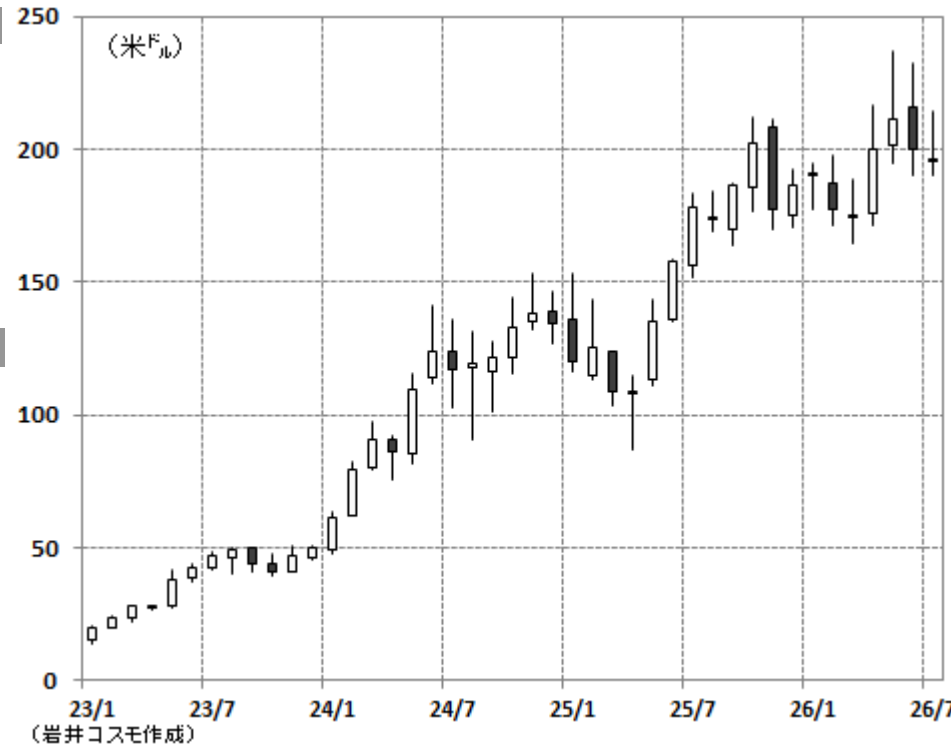
会 社 概 要

1993年設立の米半導体大手。PCゲーム向けの画像処理半導体(GPU)の開発からスタートしたが、現在はデータセンター(DC)向けのAI用半導体で世界市場を高いシェアを有する。ハードウェアだけでなく、AI開発に不可欠なソフトウェア基盤「CUDA」を提供、他社の追随を許さない強力なエコシステムを構築。用途別売上構成は、DC向けが90%、ゲーム向けが7%、プロ視覚化が1.5%、自動車が1.1%、OEM&IPが0.3%(前期)。

注 目 ポ イ ン ト

□ **AI PC用CPU市場へ本格参入へ**:「ブラックウェル」の力強い需要が続くなか、6月の台湾コンピュータックスでは次世代AI基盤「ベラルーベン」の展開を披露しサンプル出荷を開始。またAI PC向け新CPUプラットフォームを発表し、PC市場への本格参入を鮮明にした。従来の部門を「エッジコンピューティング」へ統合しクラウドから端末まで競争力を示した。

□ **ファンCEOが来日、日本企業と協業発表**:ファンCEOが7月に来日し、ソフトバンク連合の国産AI開発プロジェクトへ次世代GPU「ルーベン」を2万7,500基超供給する計画やトヨタ、三菱重工、みずほFG等とのAI・ロボティクス分野における大規模な協業を相次いで発表し、アジア市場での商機拡大を強く印象付けた。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	195.04 (07/30)
52週高値(日付)	236.54 (26/05/14)
52週安値(日付)	164.07 (25/09/05)
時 価 総 額	4兆7,200億ドル 752兆9765億円
株価変化率(%)	2.0 (過去6ヶ月間) 8.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.1 (倍)
株価売上高比率	18.7 (倍)
PBR	24.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.51 (直近年率)
配当成長率(%)	600.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	114.3 (%)
株式ベータ	1.69 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
2026/01	215,938	65	130,387	60	120,067	65	4.90	0.040
四半期業績								
2026/Q1	44,062	—	21,638	—	18,775	—	0.76	0.010
2027/Q1	81,615	85	53,536	147	58,321	211	2.39	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

会 社 概 要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトの開発のほか、ロボタクシー事業「ウェイモ」などの事業展開も。2026年6月、NYダウ工業株平均に新規採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□**ジェミニ効果と巨額増資**：4-6月期決算はクラウド部門売上が前年同期比82%増の248億ドルと生成AIジェミニ需要を受け大躍進した半面、設備投資増のため上場来初の純現金収支が赤字となった。26年6月にはAIインフラ拡充へバークシャーからの100億ドル出資を含む総額800億ドルの増資を発表し、巨額投資でAI市場の覇権を狙う姿勢を鮮明にした。

□**AIエージェント戦略と新モデル**：5月の開発者会議(I/O)では、高速・高コストの新モデル「ジェミニ3.5フラッシュ」や動画生成対応の「ジェミニ・オムニ」を発表。さらに24時間自律稼働する個人用AIエージェント「ジェミニ・スパーク」を投入。AIを指示待ちから自律行動型へ進化させ、自社エコシステムの競争力を一段と強固にする構え。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	333.66 (07/30)
52週高値(日付)	408.6 (26/05/18)
52週安値(日付)	187.82 (25/08/01)
時 価 総 額	4兆0,808億 ^{ドル} 651兆0069億円
株価変化率(%)	-1.3 (過去6ヶ月間) 69.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	32.3 (倍)
株価売上高比率	9.1 (倍)
PBR	6.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.26 (直近年率)
配当成長率(%)	4.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	49.5 (%)
株式ベータ	1.14 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/12	350,018	14	112,390	33	100,118	36	8.04	0.60
2025/12	402,836	15	129,039	15	132,170	32	10.81	0.83
四半期業績								
2025/Q2	96,428	—	31,271	—	28,196	—	2.31	0.21
2026/Q2	119,796	24	40,770	30	112,107	298	9.11	0.22

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

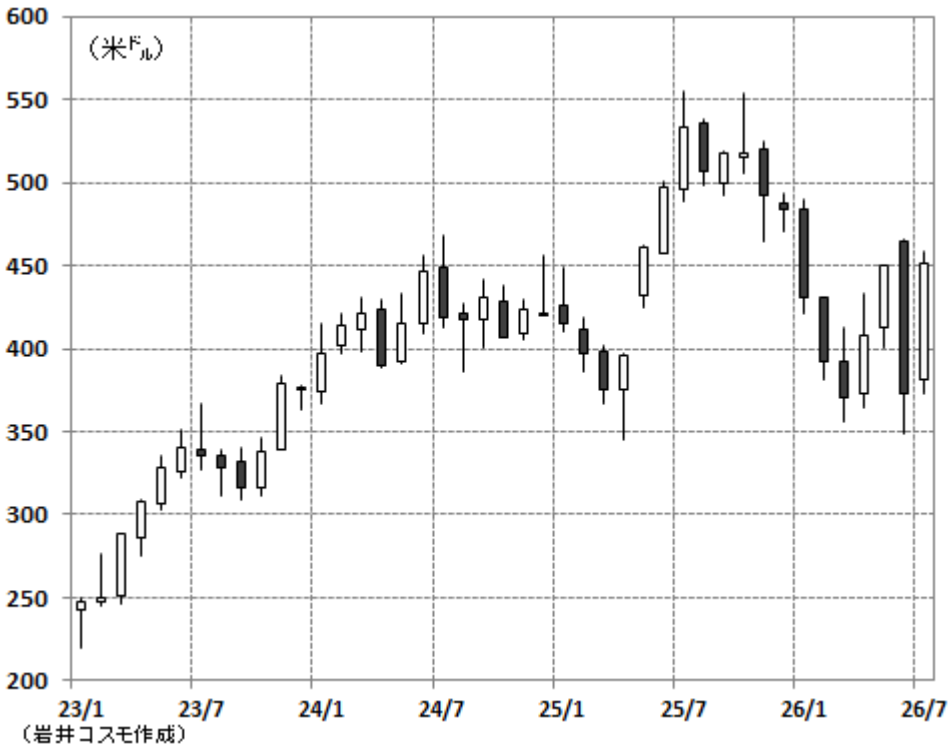
ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で高成長続く

会 社 概 要

1975年創立。PC用OS「ウィンドウズ」や業務ソフト「オフィス」で圧倒的シェアを誇る米IT大手。近年はクラウド基盤「アジュール」が急成長し収益の柱。生成AI分野を強力に牽引しており、対話型AIを手掛けるオープンAIの筆頭株主として協業体制を構築。MSとオープンAIの技術の両方を活用したAI機能「コパイロット」を自社製品群に全面展開し、法人・個人双方で高付加価値化を推進中。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

- **クラウド成長再加速**： 4-6月期売上高は前年比18%増の900億ドル。アジュールを含むインテリジェント・クラウド部門も32%増の393億ドルと好調で、アジュール単体の成長率は43%へ加速、M365コパイロットの有料ユーザー数も3千万人超を数えた。アジュールの26年度通期売上は初の1千億ドル超を果たし、巨額投資をテコにAI事業収益化が進展した。
- **オープンAIと提携を改定**： 26年4月にオープンAIとの独占契約を終了し、関係を再構築。オープンAIは他社クラウドで技術提供が可能になる一方、MS側も32年まで主要パートナーとして技術を使える権利を維持。収益分配モデルの変更や、AI高度化に伴う契約解除リスクの撤廃など条件を整理し、より柔軟で安定した協力関係に移行した。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	451.1 (07/30)
52週高値(日付)	555 (25/07/31)
52週安値(日付)	349.2 (26/06/25)
時 価 総 額	3兆3,497億 ^{ドル} 534兆3718億円
株価変化率(%)	4.8 (過去6ヶ月間) -12.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	27.1 (倍)
株価売上高比率	10.1 (倍)
PBR	7.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.81 (直近年率)
配当成長率(%)	9.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.0 (%)
株式ベータ	1.04 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24
2026/06	331,839	18	155,237	21	133,749	31	17.95	3.64
四半期業績								
2025/Q4	76,441	—	34,323	—	27,233	—	3.65	0.83
2026/Q4	90,007	18	40,603	18	35,766	31	4.81	0.91

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

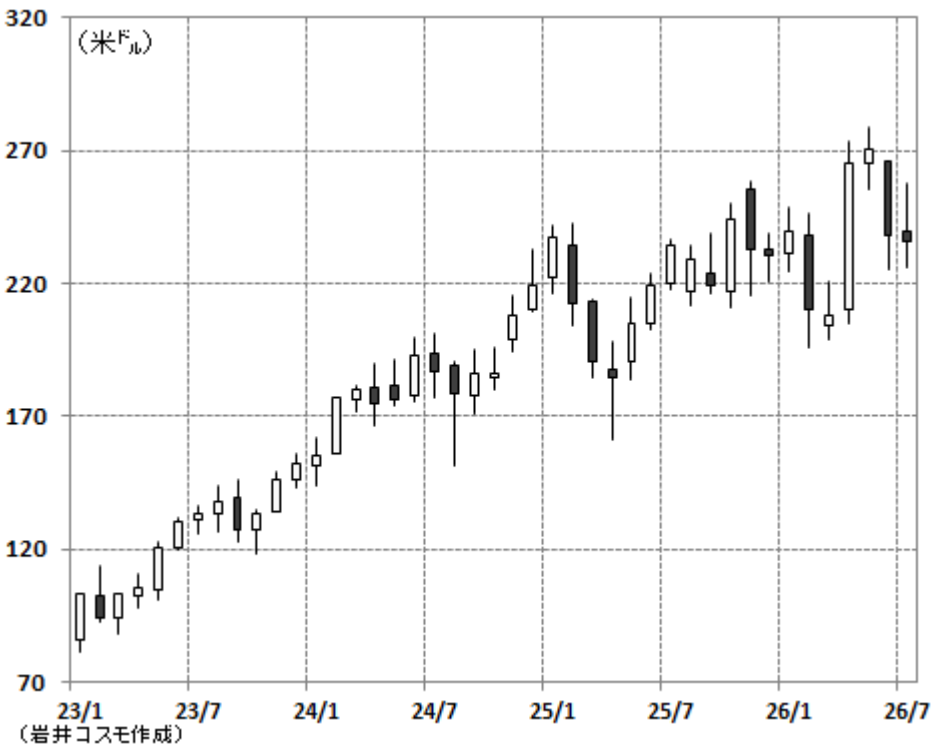
会 社 概 要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□AWSが18四半期ぶりの高成長：4-6月期決算は主力AWS売上高が前年同期比37%増の422億ドルと急加速し、年換算で約1,690億ドル規模に到達。広告事業も同26%増の198億ドルと好調を維持。26年設備投資額見通しを2,200億ドルへと引き上げAI投資拡大で純現金収支が赤字転換したが、売上・営業利益の大幅増で吸収。

□自社チップと省エネで収益化：アマゾンはAIデータセンターの運用コスト削減を強力に推進。自社開発の最新AIチップ「トレイニウム2」を導入し、高額な他社製チップへの依存を減らして設備コストを大幅圧縮。さらに、節電や水冷技術の改善で施設全体の光熱費も削減しており、機器と運用の両面から効率化し、利益率改善を目指している。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	235.5 (07/30)
52週高値(日付)	278.54 (26/05/05)
52週安値(日付)	196.13 (26/02/17)
時 価 総 額	2兆5,333億 ^{ドル} 404兆1372億円
株価変化率(%)	-1.6 (過去6ヶ月間) 2.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	32.8 (倍)
株価売上高比率	3.3 (倍)
PBR	5.7 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	24.3 (%)
株式ベータ	1.32 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00
2025/12	716,924	12	79,975	17	77,670	31	7.17	0.00
四半期業績								
2025/Q2	167,702	—	19,171	—	18,164	—	1.68	0.00
2026/Q2	200,606	20	27,461	43	62,647	3.4倍	5.75	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々35億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

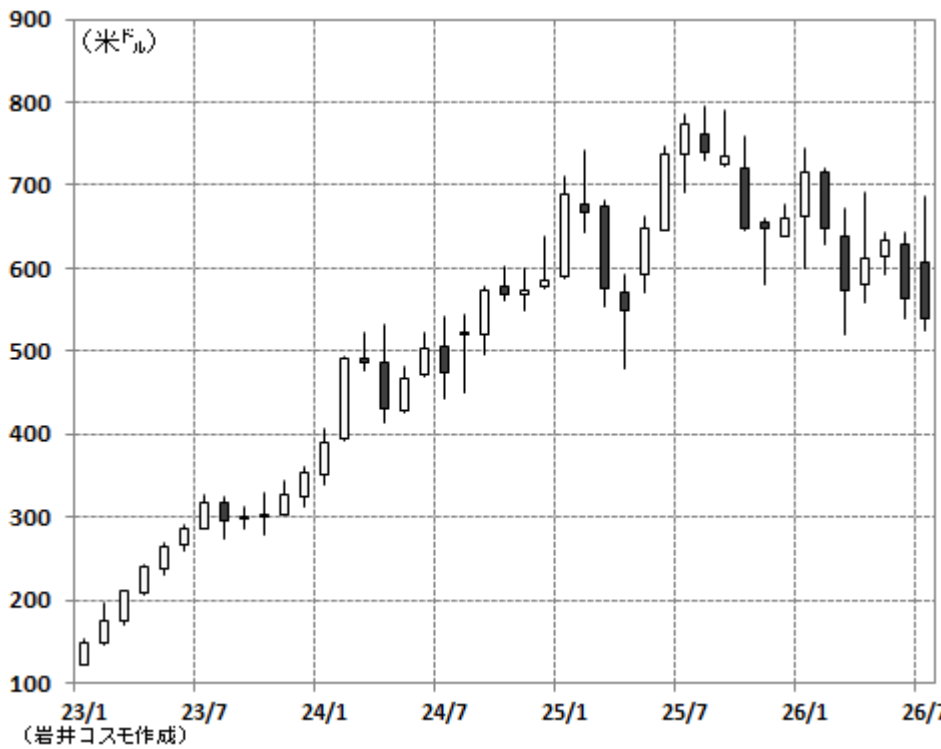
会 社 概 要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラム等も含む)は全世界で35.6億人(26年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は75,742人(26年6月末時点)。

注 目 ポ イ ン ト

□AIインフラ投資とクラウド参入：4-6月期決算は売上高が前年同期比28%増の608億ドルと好調。一方、通期の設備投資は最大1450億ドル規模の見通しであり、巨額投資を継続する。この膨大なAIインフラの余剰能力を収益化すべく、新たに「メタ・コンピュータ」の名称で計算資源の貸出し市場の参入が報じられた。

□AI最適化で広告好調：主力の広告事業はAIを活用した配信最適化が奏功し、4-6月期の広告表示回数は14%増、平均広告単価も12%上昇と堅調に伸びた。先行投資による利益圧迫があった半面、継続しているコンテンツ収益化の統合施策も相まって、本業であるSNSエコシステムの競争力と収益力の底上げは着実に進展している。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	539.03 (07/30)
52週高値(日付)	796.21 (25/08/15)
52週安値(日付)	520.26 (26/03/27)
時 価 総 額	1兆3,732億 ^{ドル} 219兆0638億円
株価変化率(%)	-24.8 (過去6ヶ月間) -22.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	16.0 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	5.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.39 (直近年率)
配当成長率(%)	2.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	29.8 (%)
株式ベータ	1.37 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00
2025/12	200,966	22	83,276	20	60,458	-3	23.49	2.00
四半期業績								
2025/Q2	47,516	—	20,441	—	18,337	—	7.14	0.525
2026/Q2	60,801	28	18,775	-8	15,848	-14	6.18	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

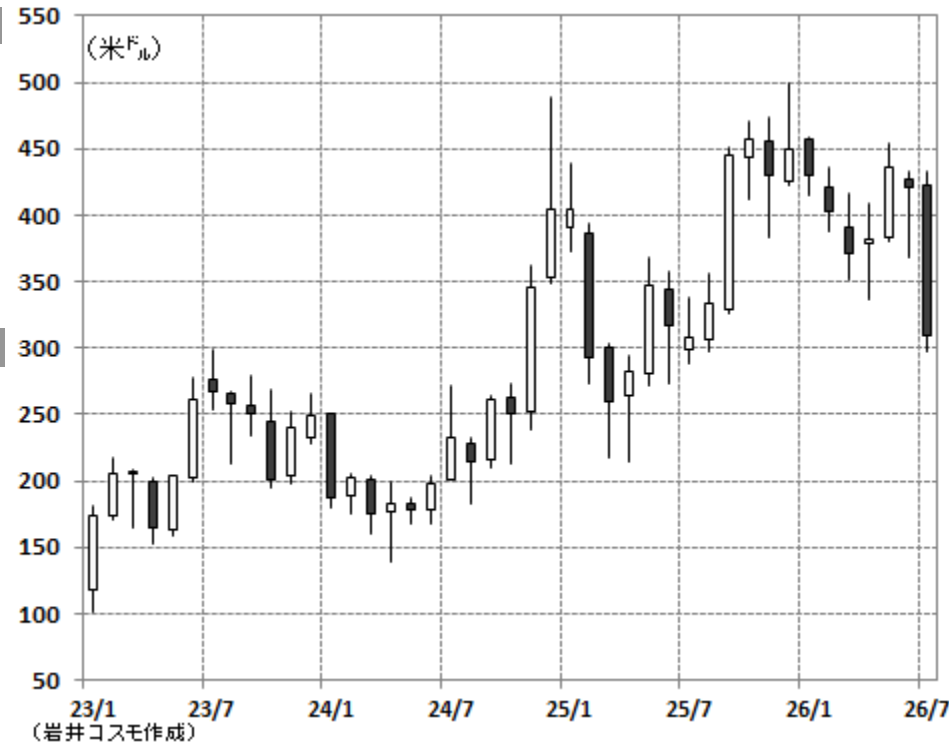
会 社 概 要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。25年のEV納車台数は前期比9%減の163.6万台。CEOのイーロン・マスク氏は米政財界で大きな影響力を持ち、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカリスマ経営者として知られる。S&P500種構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□**本業EVの復調とエネルギー事業の躍進**：4-6月期は納車台数が約48万台と持ち直し過去最高水準を記録。一方、値下げやAI投資の負担急増等により純利益は同5%減となった。注目すべきはエネルギー事業(蓄電池等)で、導入量が同41%増の13.5GWhと急成長。AIデータセンター需要等を背景に今後の強力な収益柱として期待される。

□**スペースXとの統合・協業観測**：6月にスペースXが新規上場を果たした後、7月決算会見でE.マスク氏は両社間でAIチップ共同生産等の「重複分野の増加」に直接言及した場面があった。市場では技術・資本の統合が進むとの見方が強まり、将来的な経営統合による巨大テクノロジー企業誕生への関心が一段と高まっている。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	308.85 (07/30)
52週高値(日付)	498.82 (25/12/22)
52週安値(日付)	297.39 (26/07/29)
時 価 総 額	1兆2,198億ドル 194兆5975億円
株価変化率(%)	-28.2 (過去6ヶ月間) -3.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	309.0 (倍)
株価売上高比率	9.6 (倍)
PBR	14.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.6 (%)
株式ベータ	1.55 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
2025/12	94,827	-3	4,355	-38	3,794	-46	1.08	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	22,496	—	923	—	1,172	—	0.33	0.00
2026/Q2	28,236	26	398	-57	1,114	-5	0.32	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

大きく変容する資本市場を牽引、多角的な恩恵を受ける「隠れたAI銘柄」

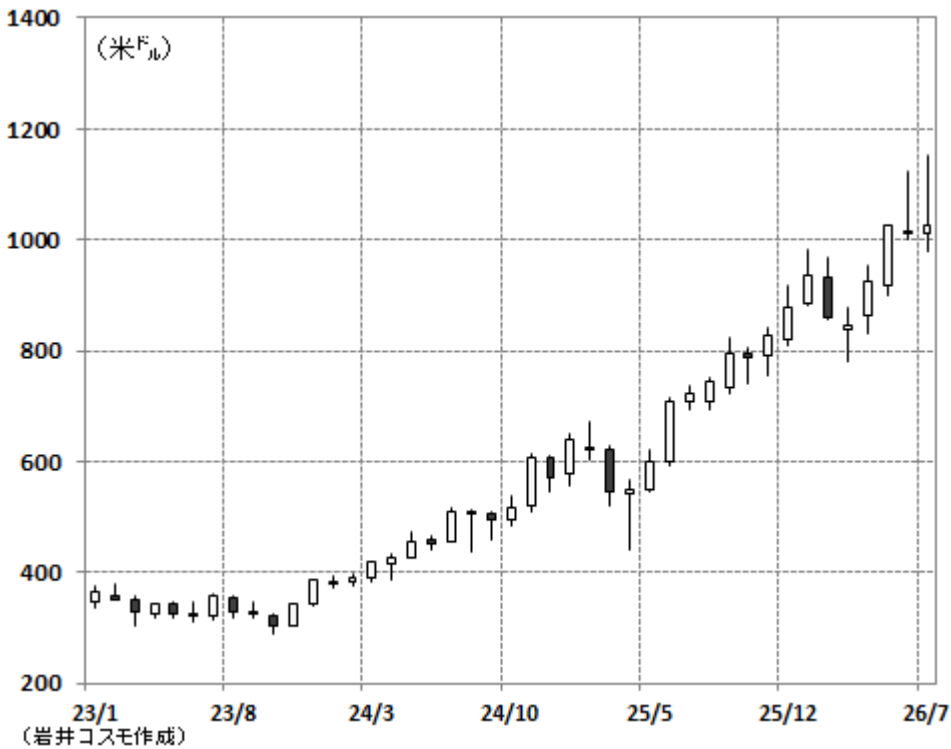
会 社 概 要

1869年設立の世界最大級の投資銀行。M&A(合併・買収)の助言業務に伝統的な強みを持ち、グローバルM&Aランキングで首位の実績を誇る。株式や債券のトレーディング業務、企業の資金調達を支援する投資銀行業務、資産運用業務などを幅広く展開。近年は積極的な自社株買いや増配といった株主還元を実施、資本効率を高めている。社員数は約46,200名(26年6月末)。2013年にNYダウ平均採用。

注 目 ポ イ ン ト

□ **投資銀行の商機再拡大**：米国企業の資金政策が、従来の「株主還元」重視から「資金調達からの設備投資」重視へと大きく変容している。巨額のAIインフラ投資や米国製造業の回帰を背景に、企業の資金調達活動が活発化し、投資銀行の商機が拡大。M&A助言や資金調達支援等で中心的な役割を演じる同社に追い風となっている。

□ **隠れたAI恩恵銘柄**：同社はAI化の波から多角的な恩恵を享受。第一に活況なAI相場を背景に株式トレーディング収入が好調であること。第二にアンソビックなどのAI関連企業の大型IPO・資金調達の主幹事を務めている点。第三に自社内へのAI導入によるリストラ効果(予測精度向上や自動審査等)が高く、内部の収益性の向上等がある。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	1024.86 (07/30)
52週高値(日付)	1153.78 (26/07/15)
52週安値(日付)	694.18 (25/08/01)
時 価 総 額	3,142億 ^{ドル} 50兆1,212億円
株価変化率(%)	9.6 (過去6ヶ月間) 40.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	— (倍)
PBR	— (倍)
税前配当利回り(%)	1.95 (直近年率)
配当成長率(%)	41.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	15.7 (%)
株式ベータ	1.25 (対S&P500)

通期業績								
決算期	経常収益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	税引前利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	53,512	16	18,397	71	13,525	71	40.54	11.50
2025/12	58,283	9	21,852	19	16,300	21	51.32	14.00
四半期業績								
2025/Q2	14,583	—	4,958	—	3,473	—	10.91	3.00
2026/Q2	20,338	39	8,563	73	6,399	84	20.98	4.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

AI革命の影の主役、データセンターの電力消費の急増を支える巨大インフラ企業

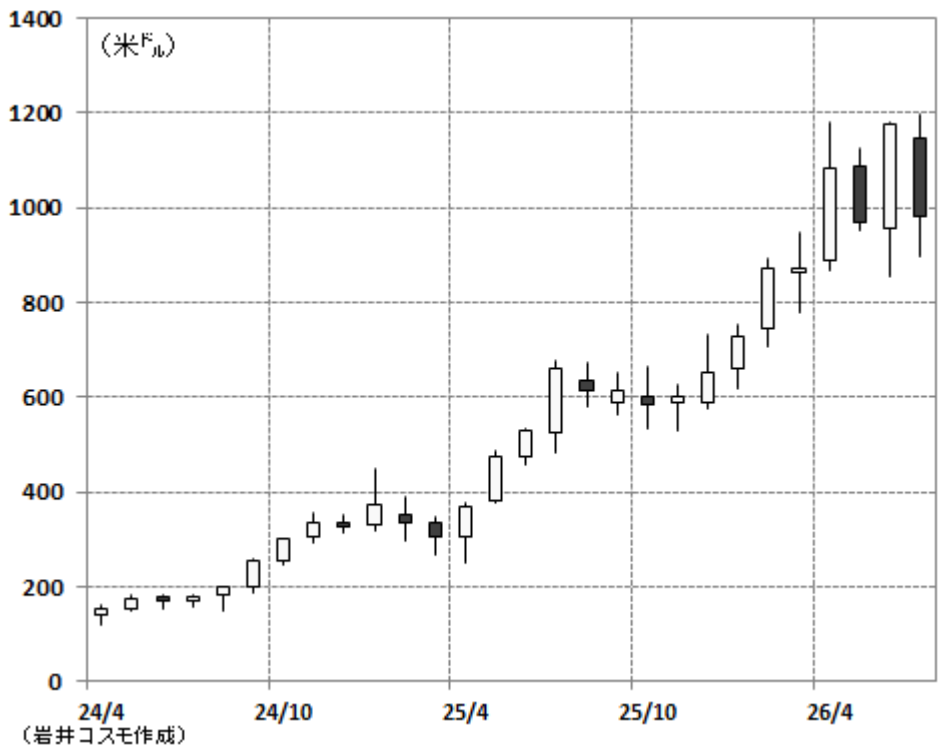
会 社 概 要

24年4月にゼネラル・エレクトリックからスピノフし独立上場したエネルギーインフラ大手。電力(ガスタービン等)、風力、電化(送配電網)の3部門体制で展開。発電・送電設備の製造からシステム導入、稼働後の保守・メンテナンスに至るまでを一貫して提供する独自のバリューチェーンを構築。世界の電力の約30%の供給に関与し、設備の売り切りから長期サービス契約による継続的な安定収益モデルへの移行を進めている。

注 目 ポ イ ン ト

□ **AI需要と送電網の近代化で活躍**: AIデータセンターの稼働に伴う膨大な電力需要の急増と、老朽化した送電網の近代化という国家レベルの巨大なインフラ特需を直接的に享受。同社と日立との合併で次世代「小型モジュール炉(SMR)」も開発し、業容の広さ・大きさから「エネルギー転換の巨人」と評する声もある。

□ **利益率向上が進展へ**: 足下、数十億ドル規模のAIデータセンター関連受注を獲得し、2028年の売上高目標520億ドルを掲げ、構造的で長期のインフラ受注サイクルが当面、続くことが期待される。高単価なインフラ機器と長期保守契約の組み合わせがもたらす利益率の更なる向上と、それに伴う資本効率の一段の上昇が期待される。



株 価 チ ャ ー ト (分離上場以来・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	981.98 (07/30)
52週高値(日付)	1195.49 (26/07/06)
52週安値(日付)	530.25 (25/11/21)
時 価 総 額	2,615億ドル 41兆7,226億円
株価変化率(%)	35.2 (過去6ヶ月間) 49.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	45.0 (倍)
株価売上高比率	6.4 (倍)
PBR	21.9 (倍)
税前配当利回り(%)	0.20 (直近年率)
配当成長率(%)	133.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	91.5 (%)
株式ベータ	1.22 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	34,935	5	471	黒転	1,552	黒転	5.58	0.00
2025/12	38,068	9	1,388	2.9倍	4,884	3.1倍	17.69	0.25
四半期業績								
2025/Q2	9,111	—	378	—	514	—	1.86	0.25
2026/Q2	11,104	22	655	73	668	30	2.47	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米半導体メモリ大手、AI向けのHBM特需と汎用品価格急騰の二重の追い風

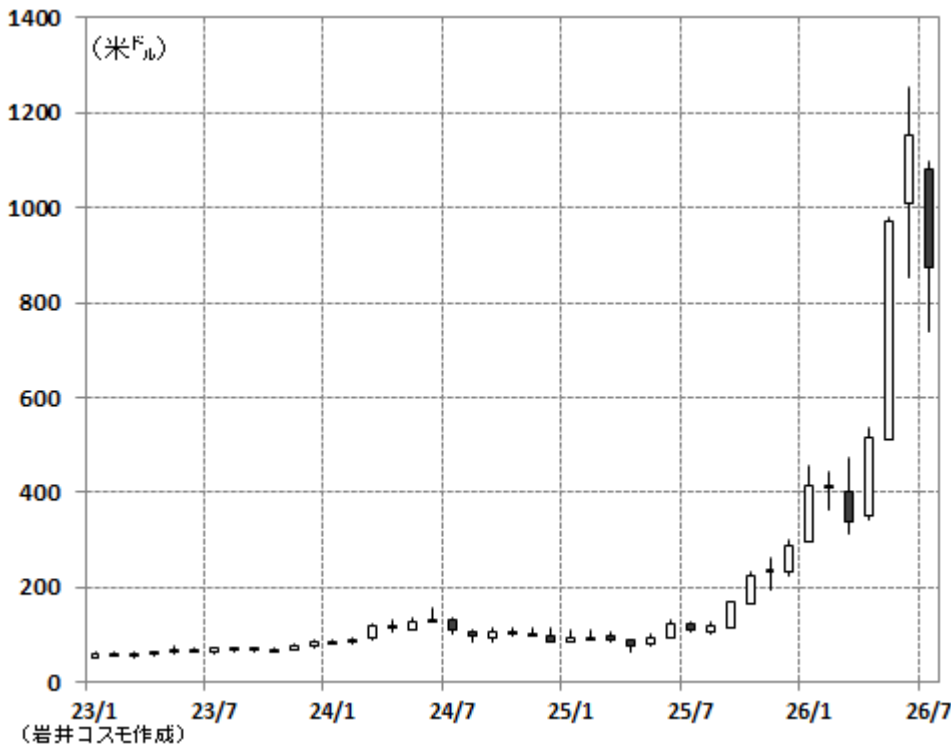
会 社 概 要

1978年設立の米半導体大手。DRAMやNAND型フラッシュメモリなど記憶媒体の設計・製造を手掛ける。サムスン電子、SKハイニックスと共に世界のメモリ市場を寡占。スマホやPC向けに加え、近年はデータセンターや車載向けを強化。特に生成AIサーバに不可欠な広帯域メモリ(HBM)の開発に注力し、エスビディアの最新GPUにも採用されている。製品別売上構成(25年度)はDRAMが76%、NANDフラッシュ23%。

注 目 ポ イ ン ト

□**驚異的業績と深刻な需給逼迫**：3-5月期売上高は前年同期比約4.5倍の414.6億ドル、調整後1株利益は25.11ドルと市場予想を超過。粗利益率は84.9%へ上昇した。競合のSKハイニックスやサムスン電子の4-6月期決算でもAI向け供給不足が鮮明となり、HBMやDRAMの価格高騰が継続。業界全体で製品の供給不足が常態化している。

□**強気見通しと投資拡大**：6-8月期売上高見通しは490億～510億ドル、粗利益率約86%と強気ガイダンスを提示。次世代HBM4売上も10億ドルを突破し完売状態が続き、AI需要を確実に取り込むべく26年度の設備投資計画を約270億ドルへ引上げた。上述韓国2社と共に主要顧客との長期契約化で構造的な高成長局面の維持を狙う。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株 価 (米ドル)	874.66 (07/30)	実績PER	19.6 (倍)	決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値 (日付)	1255 (26/06/25)	株価売上高比率	10.9 (倍)	2024/08	25,111	62	1,304	黒転	778	黒転	0.70	0.460
52週安値 (日付)	103.39 (25/08/01)	PBR	9.8 (倍)	2025/08	37,378	49	9,770	7.5倍	8,539	11倍	7.59	0.460
時 価 総 額	9,878億 ^{ドル} 1,57兆5,893億円	税前配当利回り(%)	0.07 (直近年率)	四半期業績								
		配当成長率(%)	15.2 (過去1年間)	2025/Q3	9,301	—	2,169	—	1,885	—	1.68	0.115
株価変化率(%)	110.8 (過去6ヶ月間) 662.3 (過去1年間)	株主資本利益率(ROE)	66.6 (%)	2026/Q3	41,456	4.5倍	33,318	15倍	28,243	15倍	24.67	0.150
		株式ベータ	2.02 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

会 社 概 要

1969年設立の老舗半導体メカ-。自社で工場を持たないファブレス型の米半導体大手。PC向けCPU「Ryzen」やサーバ-向けCPU「EPYC」、AI向けGPU「Instinct」を展開。22年にサイリンクスを買収しFPGA分野にも参入。年初のCES 2026では次世代GPUとCPUを統合したAI基盤「Helios」を発表する等、チップ単体からAIシステム全体を提供する企業へと進化。CPUでインテル、GPUでエヌビディアと激しいシェア争いを展開。

注 目 ポ イ ン ト

□**マイクロソフト提携拡大**：7月のイベントで2030年のAI市場規模予測を1.4兆ドル(従来：28年0.5兆ドル)へ上方修正した。マイクロソフトとの戦略的提携強化も発表し、同社クラウド「アジュール」に最新AIシステム「ヘリオス」や次世代CPUの大規模導入が決定。メタやオープンAIなど最先端企業によるギガワット規模の本格採用が進んでおり顧客基盤は盤石。

□**DC事業が同社業績の柱に**：1-3月期売上高は前年同期比38%増の103億ドル、主力のDC部門が57%増の58億ドルと過去最高を更新し成長を牽引。AI用途が学習から推論や自律稼働するAIエージェント需要へと広がる波を的確に捉え、GPU供給等で大手顧客との協業を深め、AIインフラ市場での圧倒的な存在感を一段と高めている。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	485.39 (07/30)
52週高値(日付)	584.7 (26/06/30)
52週安値(日付)	149.24 (25/09/08)
時 価 総 額	7,915億ドル 1,26兆2,644億円
株価変化率(%)	105.0 (過去6ヶ月間) 170.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	168.0 (倍)
株価売上高比率	21.1 (倍)
PBR	12.3 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.2 (%)
株式ベータ	1.64 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	25,785	14	1,900	374	1,641	92	1.00	0.00
2025/12	34,639	34	3,694	94	4,335	164	2.65	0.00
四半期業績								
2025/Q1	7,438	—	806	—	709	—	0.44	0.00
2026/Q1	10,253	38	1,476	83	1,383	95	0.84	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

通信接続用半導体大手、アマゾンのAI用半導体を手掛ける、M&Aで光通信分野を強化

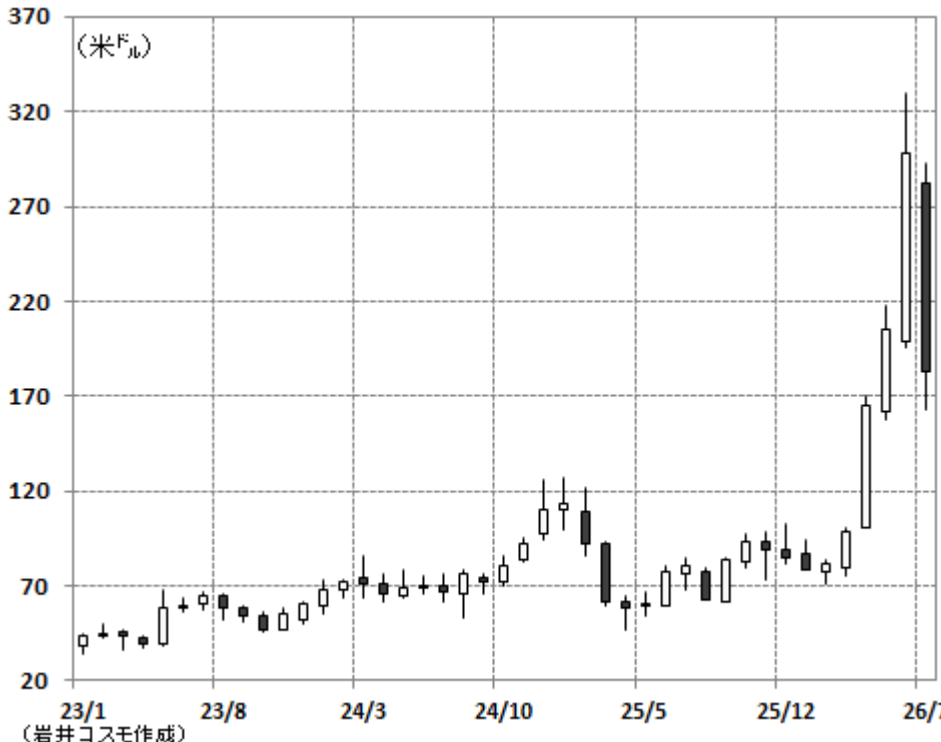
会 社 概 要

1995年創立のファブレス半導体メーカで、台湾TSMC等に生産委託。データセンターや通信インフラ向け半導体を手掛ける。祖業はストレージ分野だが、現在はAI向け通信事業等に完全にシフト。光通信を高速化する製品を豊富に揃え、近年は特定用途向けカスタム半導体(ASIC)の開発を強化し、24年にアマゾンAWSと協業拡大。26年2月に光電融合技術を持つセレスティアルAIを買収した。S&P500指数構成銘柄。

注 目 ポ イ ン ト

□ **AI需要急拡大で過去最高売上**：2-4月期決算は売上高が前年同期比28%増の24.2億ドルと過去最高を更新。データセンター部門が全体の76%を占める18.3億ドルへ急拡大した。旺盛なAI需要を受け27年度通期売上見通しを約115億ドル(約40%増)へ、28年度通期を約165億ドルへと上方修正した。

□ **光電融合(CPO)で接続革新を牽引**：6月の台湾コンピュータックスでマフィ-CEOはAI拡大の肝は接続性にあると強調。高速・低消費電力を実現する光電融合(シリコンフォトニクス)技術の投入を加速させ、業界初の102.4Tbpsスイッチ等の通信基盤を披露した。エヌビディア等との提携を通じAIインフラの通信領域で一段の地位向上を狙う。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	183.3 (07/30)
52週高値(日付)	329.86 (26/06/18)
52週安値(日付)	61.44 (25/09/04)
時 価 総 額	1,604億ドル 25兆5,808億円
株価変化率(%)	132.3 (過去6ヶ月間) 124.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	121.3 (倍)
株価売上高比率	18.1 (倍)
PBR	8.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.13 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.0 (%)
株式ベータ	1.76 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2025/01	5,767	5	-720	赤継	-885	赤継	-1.02	0.24
2026/01	8,195	42	1,323	黒転	2,670	黒転	3.07	0.24
四半期業績								
2026/Q1	1,895	—	271	—	178	—	0.20	0.06
2027/Q1	2,418	28	339	25	35	-81	0.04	0.06

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

オランダの半導体製造装置世界大手、最先端半導体に不可欠なEUV露光装置を市場へ独占的に供給

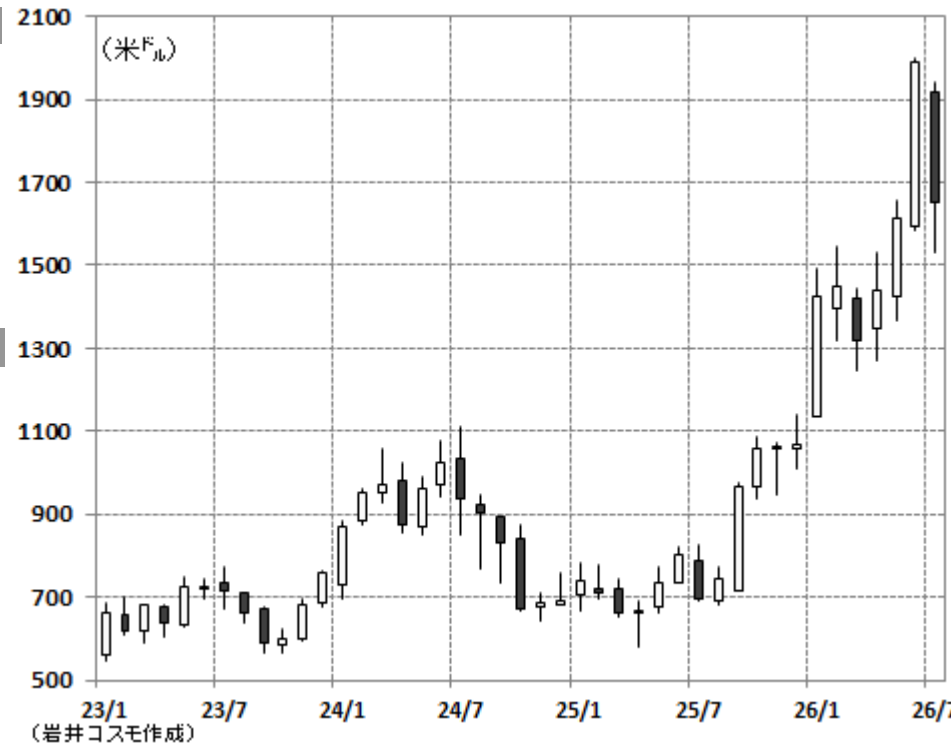
会 社 概 要

1984年にオランダのフィリップスとASMインターナショナルの合併で設立。最先端の半導体製造に不可欠な極端紫外線(EUV)露光装置を世界で唯一供給する独占的企業。主な顧客はTSMC、インテル、サムスン電子など世界の大手半導体メーカ等。旧世代の深紫外線(DUV)露光装置でも高いシェアを誇り、AI半導体を含む世界のチップ製造エコシステムの最上流で優位な地位を確立。欧州テック企業の代表的存在。

注 目 ポ イ ン ト

□**次世代EUVの本格導入と通期増収**：4-6月期売上高は前年同期比21%増の93.3億ユーロと市場予想を超過。AI向け需要増を背景に通期の売上高見通しを430億～450億ユーロへ上方修正した。1台約4億ドルに達する超高額装置「高NA EUV」はインテルやTSMC等の最先端(2ナノ以降)ラインへの納入・量産プロセス化が進展している。

□**マスク氏の「テラファブ」構想に関与**：E.マスク氏が推進する550億ドル規模の半導体工場「テラファブ」構想に必須のEUV装置供給元として深く関与。6月の社内技術会議にはマスク氏が登壇し経営陣と協業を表明。AI需要急増に伴う主要顧客からの受注残消化に加えて、新プロジェクトによる追加需要で露光装置の供給逼迫が予想される。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	1651.44 (07/30)
52週高値(日付)	1999.95 (26/06/30)
52週安値(日付)	683.59 (25/08/01)
時 価 総 額	6,410億 ^{ドル} 1,02兆2,591億円
株価変化率(%)	16.1 (過去6ヶ月間) 128.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	52.0 (倍)
株価売上高比率	15.6 (倍)
PBR	25.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.52 (直近年率)
配当成長率(%)	27.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	53.9 (%)
株式ベータ	1.23 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2024/12	28,263	3	9,023	-0	7,572	-3	19.24	6.24
2025/12	32,667	16	11,301	25	9,609	27	24.71	6.56

四半期業績

2025/Q2	7,692	—	2,664	—	2,290	—	5.90	1.84
2026/Q2	9,327	21	3,456	30	2,918	27	7.58	2.70

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

AI半導体の進化を根底から支える半導体製造装置の世界大手

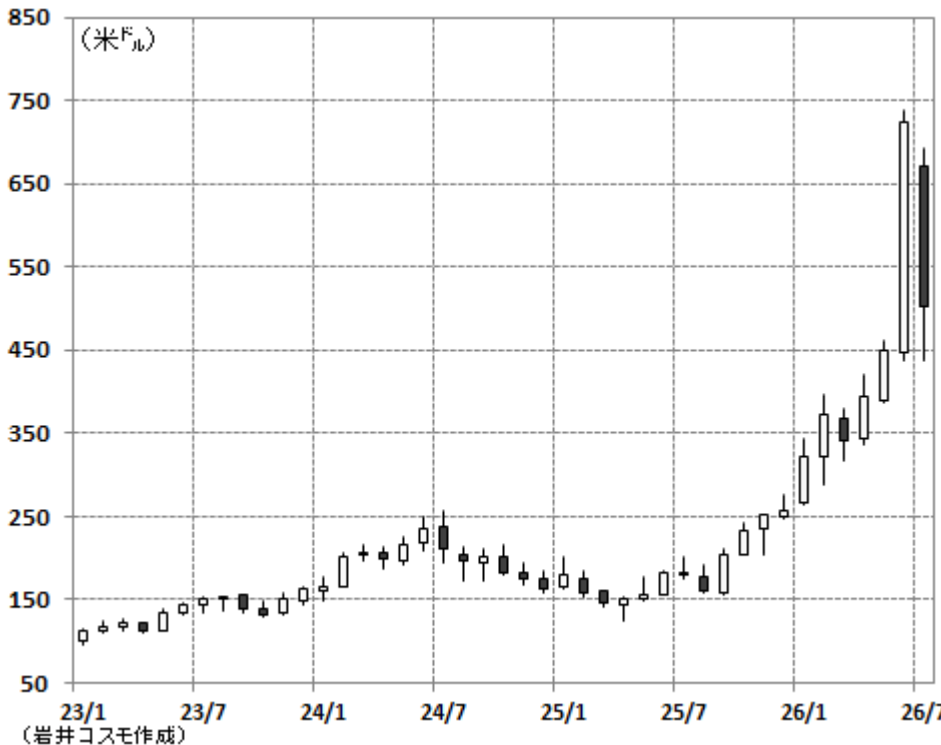
会 社 概 要

1967年設立の世界最大級の半導体製造装置メーカ。半導体製造の前工程における成膜(CVD、PVD等)、エッチング、検査に至る広範なプロセスを網羅。特に金属配線形成に不可欠なスパッタリング装置(PVD)で8割以上のシェアを誇る。最先端ファウンドリ向けに複数工程を統合したプラットフォームを提供し、顧客企業へ高付加価値を創出できるが同社の強み。本社はカリフォルニア州。

注 目 ポ イ ン ト

□ **最先端AIチップの複雑化が追い風**：AI向けメモリ(HBM)や最先端半導体構造「GAA(電気の漏れを防ぐ全周ゲート構造)」の量産本格化で需要が急拡大。GAAの構造づくりに不可欠な膜を積む装置(エビタキヤル)などで高いシェアを握る。5-7月期売上高は89.5億ドル(約23%増)を見込むなど、中長期的な成長局面の初期段階にある。

□ **工程を一括提供できる「総合力」**：膜を塗る(成膜)から不要箇所を緻密に削る(エッチング)まで、複雑な加工を一連のシステムで提供できる点が最大の強み。この一元化提案で顧客を囲い込み、最先端市場での優位性を維持。利益率が過去最高水準へ高まる中、世界的な設備投資の拡大が今後の業績をさらに押し上げる見通し。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	27,176	2	7,867	3	7,177	5	8.61	1.52
2025/10	28,368	4	8,289	5	6,998	-2	8.66	1.78

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	7,100	—	2,169	—	2,137	—	2.63	0.46
2026/Q2	7,910	11	2,523	16	2,806	31	3.51	0.53

株価データ

株 価 (米ドル)	501.77 (07/30)
52週高値 (日付)	739.67 (26/06/30)
52週安値 (日付)	154.48 (25/09/03)
時 価 総 額	3,984億ドル 63兆5,544億円
株価変化率 (%)	55.7 (過去6ヶ月間) 164.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	50.8 (倍)
株価売上高比率	13.7 (倍)
PBR	16.7 (倍)
税前配当利回り (%)	0.42 (直近年率)
配当成長率 (%)	15.1 (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	39.7 (%)
株式ベータ	1.40 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

特殊ガラス製品メーカー、AIインフラとして需要が急増する光ファイバーで復権中

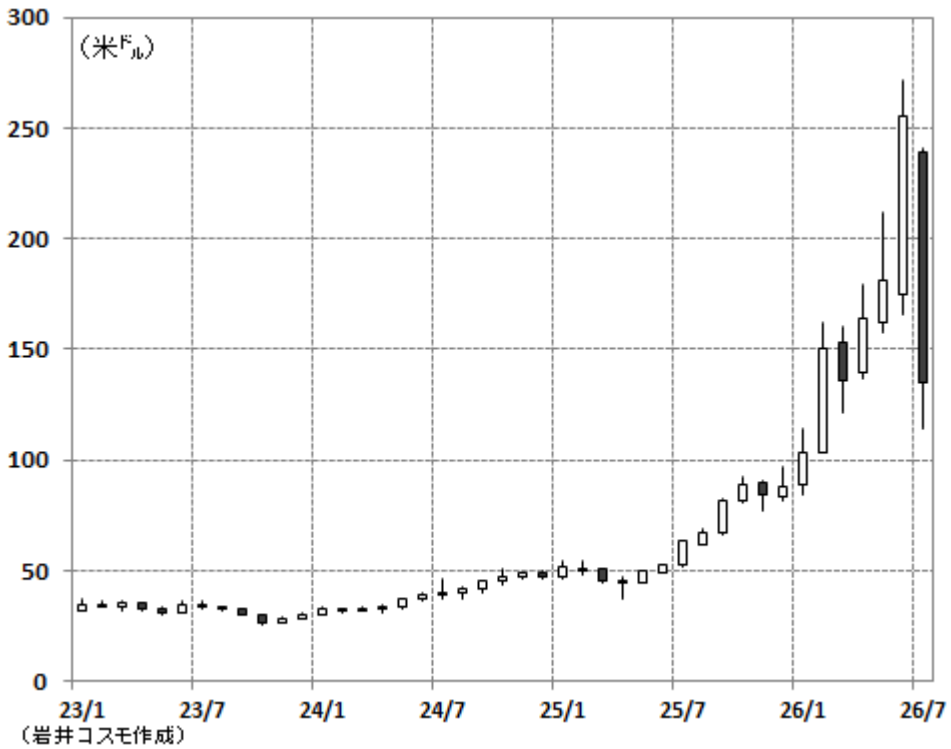
会 社 概 要

1851年創立。特殊ガラスやセラミックスの世界最大手。エジソンの電球用ガラスに始まり、iPhoneの「ゴリラガラス」で知られる高い技術力を誇る。事業は光通信、ディスプレイ、環境、ライフサイエンス分野まで多岐に亘るが、現在はAIデータセンター需要に伴う光ファイバー関連が急成長。24年に開始した中期成長戦略「スプリングボード」の下、生成AIブームを背景に力強い回復を遂げながら、収益性向上を加速させている。

注 目 ポ イ ン ト

□ **アマゾン等との大型契約とAI需要**：6月にアマゾンとAIデータセンター向け光ファイバー等の数十億ドル規模の複数年供給契約を締結。ノースカロライナ拠点を拡張し1000人を新規雇用する。1月のメタとの最大60億ドル契約に続くメガテックとの大型提携により米国内供給網を強化し、急速に膨らむAIインフラ需要を確実に取り込む。

□ **業績見通し上方修正と光通信の躍進**：4-6月期決算は売上高が前年同期比11%増の36.2億ドルと好調。特に、AI向け需要が膨らむ光通信部門の売上高は同42%増の14.8億ドルへ急拡大し全社成長を牽引した。強固な受注残を背景に、26年末の年換算売上高目標を200億ドル規模(28年末300億ドル)へと大幅に引き上げた。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	135.22 (07/30)
52週高値(日付)	271.38 (26/06/30)
52週安値(日付)	61.47 (25/08/01)
時 価 総 額	1,165億ドル 18兆5,816億円
株価変化率(%)	31.0 (過去6ヶ月間) 116.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	55.0 (倍)
株価売上高比率	6.8 (倍)
PBR	9.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.83 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.1 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	13,118	4	1,135	28	506	-13	0.58	1.12
2025/12	15,629	19	2,279	101	1,596	215	1.83	1.12
四半期業績								
2025/Q2	3,862	—	573	—	469	—	0.54	0.28
2026/Q2	4,505	17	698	22	559	19	0.64	0.28

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

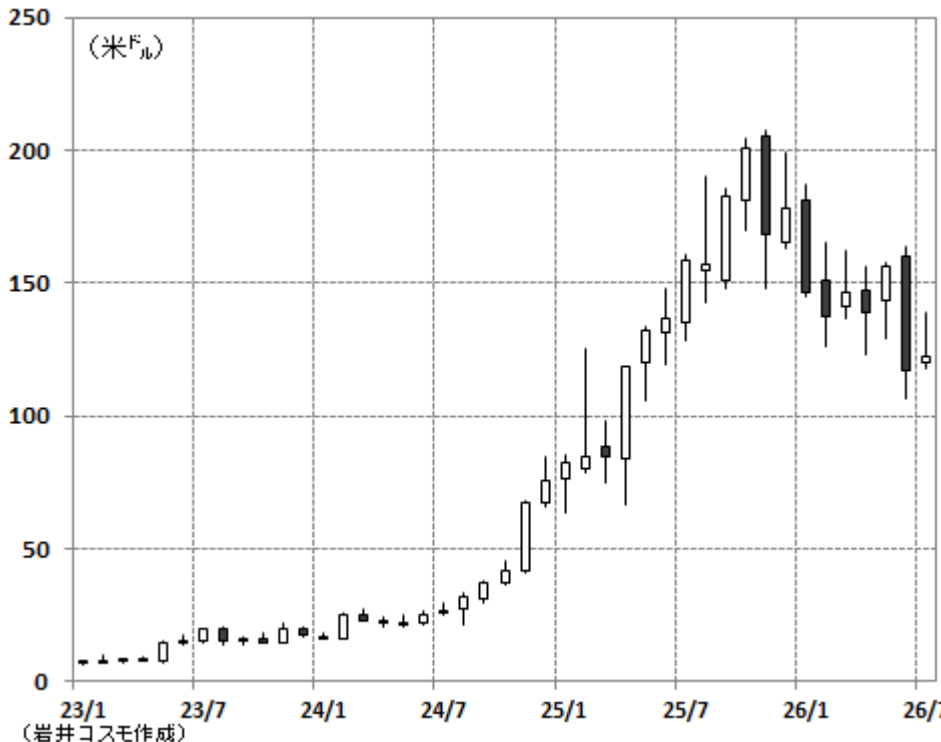
会 社 概 要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレクサンダー・カープ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析・抽出する技術に定評。最大の強みは優秀な技術者が直接顧客先に常駐して課題解決を伴走支援する「フォワード・デプロイト・エンジニア(FDE)」体制にある。「パランティア」は映画「指輪物語」の水晶玉に由来。同銘柄はS&P500(24年9月)やナスダック100(24年12月)に採用された。

注 目 ポ イ ン ト

□**米民間部門が驚異的な急成長**：直近の1-3月期決算では、売上高が前年同期比85%増の16.3億ドルと上場来最高の伸びを記録。米民間売上は133%増の5.9億ドルと急成長を継続。AIプラットフォーム「AIP」導入に向けた「ブートキャンプ」が新規獲得やFDEの活動が奏功、当該四半期だけで206件もの100万ドル超の大型案件が成約した。

□**米政府部門でのAI導入が加速**：米国防総省が同社のAI指揮統制システム「メイブン・スマート・システム」を公式採用する等、政府・軍事部門での「AI実効力」の優位性を確立。直近の1-3月期において米政府向け売上高も前年同期比84%増の6.8億ドルへ再加速しており、安定的かつ長期的な資金提供の基盤が一段と強固になっている。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	122.26 (07/30)
52週高値(日付)	207.52 (25/11/03)
52週安値(日付)	106.37 (26/06/25)
時 価 総 額	2,931億ドル 46兆7,575億円
株価変化率(%)	-16.6 (過去6ヶ月間) -22.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	136.9 (倍)
株価売上高比率	55.8 (倍)
PBR	34.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.9 (%)
株式ベータ	1.79 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2024/12	2,866	29	310	2.6倍	462	2.2倍	0.19	0.00
2025/12	4,475	56	1,414	4.6倍	1,625	3.5倍	0.63	0.00
四半期業績								
2025/Q1	884	—	176	—	214	—	0.08	0.00
2026/Q1	1,633	85	754	4.3倍	871	4.1倍	0.34	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

クラウド監視プラットフォーム最大手、AI監視の新市場を開拓

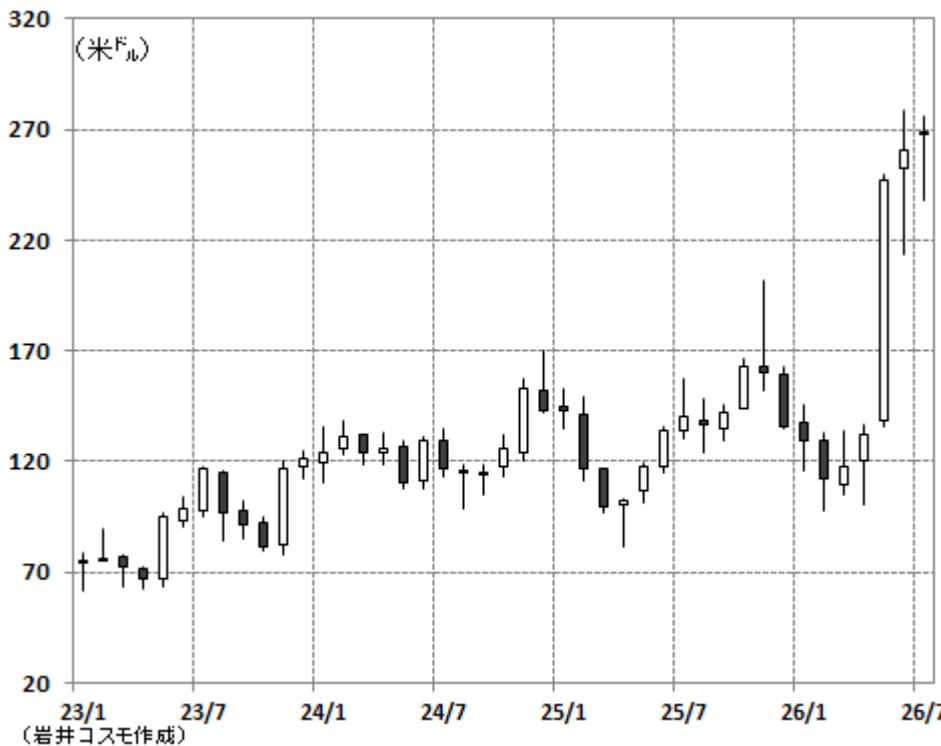
会 社 概 要

2010年創立。クラウド環境のシステム監視(オブザーバビリティ)プラットフォームを提供するSaaS企業。サーバやアプリ、ネットワーク等の稼働状況やログデータを一元的に収集・可視化し、障害の早期発見と解決を支援する。近年はAIを活用した監視機能(LLMオブザーバビリティ)や、クラウドセキュリティ領域への拡張を進めており、設計段階からセキュリティを組み込む開発手法を提唱し存在感を高めている。本社はニューヨーク。

注 目 ポ イ ン ト

□**AIの健全性を見張る新市場開拓**：システム監視の強みを活かし、企業が利用する生成AIのパフォーマンスやコスト、ハルシネーション(もつとらしい嘘)の兆候を監視する機能に注力。アンソロピックやオープンAIのモデル等のAPI利用料金の暴走を防ぐなど、AIを守り・管理する独自の地位を確立している。

□**安定した成長力と高い収益性**：システムの複雑化や生成AI普及を背景に、監視ツールの需要は底堅い。既存顧客の利用拡大(アップセル)が牽引し、23年7-9月期以降、最終黒字を継続し、安定したフリーキャッシュフローを創出。単なる監視ツールから、システム内部のセキュリティ監視基盤へと領域を広げることで、更なる市場開拓を目指す。



株 価 チ ャ ー ト (2023年以降・月足)

株価データ	
株 価(米ドル)	268.56 (07/30)
52週高値(日付)	278.65 (26/06/01)
52週安値(日付)	98.215 (26/02/24)
時 価 総 額	956億ドル 15兆2,519億円
株価変化率(%)	107.7 (過去6ヶ月間) 80.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	677.3 (倍)
株価売上高比率	25.6 (倍)
PBR	24.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	3.9 (%)
株式ベータ	1.25 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	2,684	26	54	黒転	184	278	0.52	0.00
2025/12	3,427	28	-44	赤転	108	-41	0.31	0.00
四半期業績								
2025/Q1	762	—	-12	—	25	—	0.07	0.00
2026/Q1	1,006	32	7	黒転	53	113	0.15	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265%(税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
 - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)が7.5万円以下の場合は11.0%(税込)、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円(税込)、50万円超の場合は最大で(約定代金の1.00%+2,500円)×1.1(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
 - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
 - 販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
 - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
 - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
 - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
 - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。